



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 名糖産業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 彰宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,057	△1.6	△454	—	203	21.0	△155	—
25年3月期第3四半期	14,288	△8.8	△274	—	168	△69.0	161	79.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,118百万円 (428.6%) 25年3月期第3四半期 400百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△9.26	—
25年3月期第3四半期	9.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	48,031	35,182	72.7
25年3月期	45,850	33,378	72.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 34,928百万円 25年3月期 33,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	20.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,100	△0.6	△600	—	80	150.5	△280	—	△16.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	21,265,000 株	25年3月期	21,265,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	4,464,882 株	25年3月期	4,462,881 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	16,800,920 株	25年3月期3Q	16,809,539 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国の経済政策に伴う株価上昇などを背景に高額商品に対する消費者マインドが持ち直し、また円安により輸出環境が改善して企業の景況感が上向き、景気の緩やかな回復が進みました。しかし一方では、素材価格の上昇や新興国経済の減速など、企業収益への懸念材料も残りました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、大衆商品への消費者の節約志向が根強く、企業間の低価格競争が続くなかで、原材料価格やエネルギーコストの上昇などが収益を圧迫して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様に満足いただける高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて1.6%減の14,057百万円となりました。営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減に努めましたが、売上高の減少や原材料価格の上昇などにより454百万円の損失となりました。前年同期は274百万円の営業損失でありました。また、経常利益は営業外収益の増加などにより、前年同期と比べて21.0%増の203百万円となりました。四半期純損益につきましては、連結子会社の株式会社エースペーカーの繰延税金資産を取崩して293百万円を法人税等調整額に計上した結果、155百万円の純損失となりました。前年同期は161百万円の純利益でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は新商品やリニューアル商品を投入して販売施策を展開しましたが、消費者の嗜好品に対する節約志向が根強く、企業間競争が加速して減収となりました。チョコレート類は、主力の「アルファベットチョコレート」や「ナッツチョコレートコレクション」などのファミリータイプの商品が売上を伸ばし、増収となりました。しかし、キャンディ類は苦戦を強いられ減収となりました。

粉末飲料部門は、「レモンティー」や「しょうが紅茶」などが企業間の厳しい販売競争の影響を受けて落ち込み、減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、販売促進活動を展開して需要の喚起を図ったところ、前年同期並みの売上高となりました。

そのほか、株式会社エースペーカーは、売上の拡大を目指して積極的な商品提案や営業活動に取り組みました結果、ゼリー類は好調に推移しましたが、主力のパウムクーヘン類の売上高が前年同期を下回り、減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ2.2%減の12,360百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の減少や売上原価率の上昇などにより、32百万円の損失となりました。前年同期は164百万円の営業利益でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、円安の追い風を受けるなか、販路拡大を目指してグローバルな営業活動を展開しました結果、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに増収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」や、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾピスト』の原薬である「フェルカルボトラン」の減少が影響し、減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ5.3%増の1,468百万円となりましたが、営業損益につきましては、減価償却費の負担に加え販売品目構成の影響などにより48百万円の損失となりました。前年同期は65百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、平成24年12月に持分法適用会社との工場の賃貸契約が終了したことなどにより、売上高は前年同期に比べ8.3%減の227百万円となり、営業利益は前年同期に比べ12.2%減の89百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ160百万円減少し、9,708百万円となりました。これは、現金及び預金が1,337百万円減少したことや、有価証券が614百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,341百万円増加し、38,322百万円となりました。これは、保有する株式の株価の上昇などにより投資有価証券が2,968百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2,180百万円増加し、48,031百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ219百万円減少し、5,023百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が434百万円増加したことや、その他に含まれる短期借入金が580百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ595百万円増加し、7,825百万円となりました。これは、長期借入金が686百万円減少したことや、繰延税金負債が1,197百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ376百万円増加し、12,848百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,804百万円増加し、35,182百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が2,274百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

当該予想の修正に関する事項は、本日（平成26年2月7日）発表の「通期連結業績予想の修正および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821	1,483
受取手形及び売掛金	4,062	4,430
有価証券	785	1,400
商品及び製品	880	871
仕掛品	354	347
原材料及び貯蔵品	709	919
その他	274	263
貸倒引当金	△20	△7
流動資産合計	9,868	9,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,054	4,855
その他(純額)	7,065	6,846
有形固定資産合計	12,120	11,701
無形固定資産		
	81	70
投資その他の資産		
投資有価証券	23,374	26,343
その他	478	281
貸倒引当金	△73	△74
投資その他の資産合計	23,779	26,550
固定資産合計	35,981	38,322
資産合計	45,850	48,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,872	2,307
1年内返済予定の長期借入金	914	914
未払法人税等	27	1
返品調整引当金	7	7
その他	2,419	1,791
流動負債合計	5,242	5,023
固定負債		
長期借入金	1,922	1,236
繰延税金負債	2,784	3,982
退職給付引当金	2,139	2,285
役員退職慰労引当金	16	13
その他	365	307
固定負債合計	7,229	7,825
負債合計	12,471	12,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	33,662	33,170
自己株式	△8,544	△8,545
株主資本合計	26,507	26,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,640	8,914
その他の包括利益累計額合計	6,640	8,914
新株予約権	230	254
純資産合計	33,378	35,182
負債純資産合計	45,850	48,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,288	14,057
売上原価	10,077	10,038
売上総利益	4,210	4,018
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,678	1,668
給料手当及び賞与	1,115	1,084
退職給付費用	63	139
役員退職慰勞引当金繰入額	4	4
貸倒引当金繰入額	0	—
減価償却費	53	46
その他	1,568	1,528
販売費及び一般管理費合計	4,485	4,473
営業損失(△)	△274	△454
営業外収益		
受取利息	18	17
受取配当金	398	398
持分法による投資利益	42	105
その他	54	182
営業外収益合計	514	704
営業外費用		
支払利息	29	21
固定資産除売却損	24	22
その他	17	1
営業外費用合計	70	45
経常利益	168	203
特別利益		
投資有価証券売却益	54	63
特別利益合計	54	63
特別損失		
投資有価証券評価損	48	43
製品回収廃棄損	—	17
特別損失合計	48	61
税金等調整前四半期純利益	174	205
法人税、住民税及び事業税	18	7
法人税等調整額	△5	353
法人税等合計	13	361
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	161	△155
四半期純利益又は四半期純損失(△)	161	△155

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	161	△155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	239	2,274
その他の包括利益合計	239	2,274
四半期包括利益	400	2,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	400	2,118

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,644	1,395	248	14,288	—	14,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,644	1,395	248	14,288	—	14,288
セグメント利益又は損失(△)	164	△65	102	200	△475	△274

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,360	1,468	227	14,057	—	14,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,360	1,468	227	14,057	—	14,057
セグメント利益又は損失(△)	△32	△48	89	9	△464	△454

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。